テーブル

テーブルのレコードを、選択したフィールドの列で一覧表示する

◇機能

「テーブル」は、テーブルのレコードを、「カラム軸」に追加したフィールドを列にして一覧で表示するチャートです。1件のレコードが1行になります（集計はされません）。チャートと同じページで、元のデータを確認できます。

例：売上データの「地域」「営業担当者」「金額」を一覧で表示します。



※同じページの「スライサー」で値を選択すると、選択した値のレコードだけが表示されます。

※表の下の「フィルター式」に条件を入力して、表示するレコードを絞り込めます。元のテーブルは変更されません。

◇メニュー

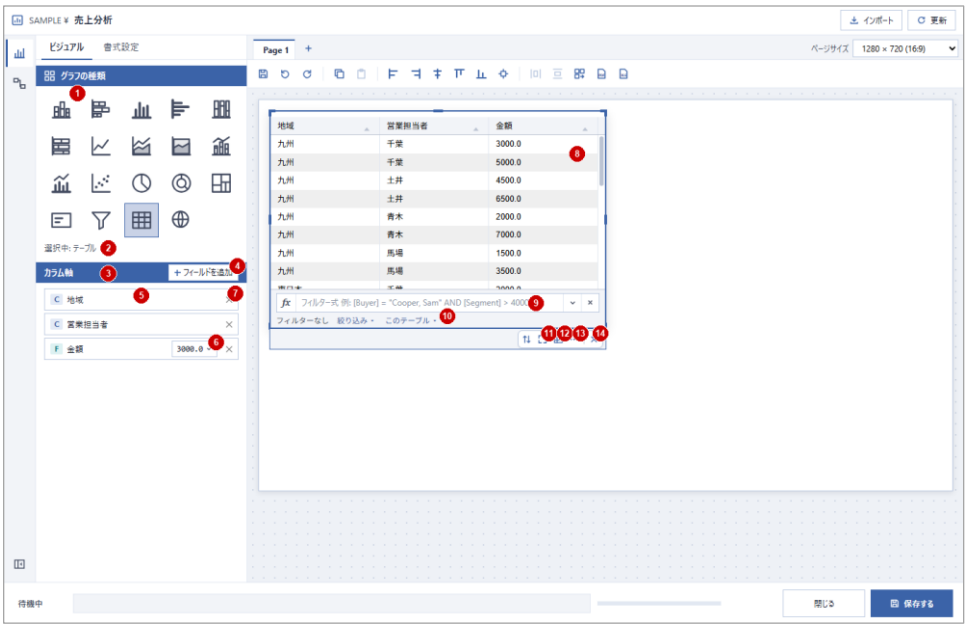
《プロジェクト》-《チャート》でチャート画面を開き、「ビジュアル」タブの《テーブル》アイコンをクリックします。

※チャート画面の共通の操作（テーブルの追加・ページ・保存・エクスポートなど）は、「チャートの作成」を参照してください。

© 2026 SanKei Biz Consulting, Corp.

◇設定内容

■「ビジュアル」タブ



1. チャートの種類 ：《テーブル》が選択されています。ほかのアイコンで種類が変わります。
2. 選択中の種類 ：選択しているチャートの種類の名前が表示されます。
3. 「カラム軸」 ：表の列にするフィールドです。追加した順に、左から列が並びます。
4. 《フィールドを追加》 ：フィールドを選択する画面を開きます。
5. フィールド ：追加したフィールドです。ドラッグで、列の順番を入れ替えられます。
6. 表示形式 ：数値・日付のフィールドの、列の表示形式を選択します。
7. 《×》 ：フィールド（列）を外します。
8. 表 ：上部をクリックで選択、ドラッグで移動、周りの点で大きさを変更します。
   - 列の見出しをクリックすると、その列の値の順に並べ替えます。
   - 下までスクロールすると、続きのレコードが読み込まれます。
9. 「フィルター式」 ：条件（例：[地域] = "九州" AND [金額] > 4000）を入力してEnterキーを押すと、条件に合うレコードだけを表示します。「[」を入力すると、フィールド名の候補が表示されます。Escキーで前の条件に戻ります。
10. 絞り込みの状態 ：条件に合うレコードの件数（誤りがある場合は、誤りの位置）が表示されます。
    - 「絞り込み」／「ハイライト」：合うレコードだけ表示／強調表示
    - 「このテーブル」／「ページ全体」：この表だけ／ページのすべてのチャート
11. 《フォーカスモード》 ：表を大きく表示します。もう一度クリックすると元に戻ります。
12. 《テーブルとして表示する》 ：表のデータを別の表で表示します。
13. 《…》 ：「画像エクスポート」「データをエクスポート」を選択します。
14. 《×》 ：表を削除します（「チャートを削除しますか？」の確認があります）。

© 2026 SanKei Biz Consulting, Corp.

■「書式設定」タブ：「カラムヘッダー」

表の1行目（列の見出し）の表示を設定します。



15.「カラムヘッダー」　：列の見出しを表示します（初期値：オン）。

16. フォント・文字の大きさ・B／I／U・色　：見出しの文字の書式です（初期値：Arial、12、黒）。大きさは8～60です。

17.「背景」　：見出しの背景の色です。

■「書式設定」タブ：「値」

表の各行の表示を設定します。



18.「値」　：各行の値を表示します（初期値：オン）。

19. フォント・文字の大きさ・B／I／U・色　：値の文字の書式です（初期値：Arial、12、黒）。色は奇数行の文字の色です。

20.「背景色」　：奇数行の背景の色（初期値：白）です。

21.「代替の色」　：偶数行の文字の色（初期値：黒）です。

22.「代替の背景色」　：偶数行の背景の色（初期値：薄い灰色）です。

23.「1回の読み込み件数」　：一度に読み込むレコードの件数（100、200（初期値）、500、1000）です。

© 2026 SanKei Biz Consulting, Corp.

■「書式設定」タブ：「グリッド」

表の罫線を設定します。



24.「グリッド」　　：罫線を表示します（初期値：オフ）。

25.「水平グリッド線」　　：行の間の横線の太さ（初期値：0）と色です。

26.「垂直グリッド線」　　：列の間の縦線の太さ（初期値：0）と色です。

※数値の項目に範囲外の値を入力した場合は、その値は使用されず、表は変わりません。

© 2026 SanKei Biz Consulting, Corp.

◇テーブルの例

次の売上データ（一部）から作成した例です。

売上番号	計上日	地域	営業担当者	商品分類	数量	金額
S001	2024/01/01	東日本	青木	食品	1	1000
S005	2024/05/05	西日本	青木	食品	5	5000
S009	2024/03/09	九州	青木	食品	4	2000
…	…	…	…	…	…	…

■ 売上番号・計上日・金額を表示する場合

カラム軸：売上番号、計上日、金額。1件の売上が1行になります。



■ 金額の大きい順に並べる場合

カラム軸：営業担当者、金額。「金額」の見出しをクリックして、降順で並べ替えにした例です。



■ 「グリッド」をオンにする場合

罫線の太さを1にした例です。



© 2026 SanKei Biz Consulting, Corp.

◇テーブルが表示されない場合

フィールドに誤りがある場合は、表の代わりに、チャートの枠の中にメッセージが表示されます。

※「このビジュアルを表示できません。フィールド {0} はテーブル {1} に存在しません。」
→ テーブルにないフィールド（削除・名前の変更など）を、軸から外して選び直します。

※「テーブル {0} は存在しません。」
→ チャートのデータにないテーブルです。《インポート》で追加し直します。

※「フィルター式」の条件に誤りがある場合は、表の下に誤りの位置が表示され、表は前の条件のまま表示されます。

◇操作ログ

保存すると、チャートごとに次のコマンドが記録されます（共通の部分は「チャートの作成」を参照）。

CREATE CHART TYPE "TABLE" **TABPAGE** 1 **TABNAME** "Page 1"
COLUMN-AXIS TABLE "テーブル" **FIELD** [フィールド] **AND** ･･･
書式のキーワード ･･･ **WIDTH** 620 **HEIGHT** 400 **CHART-X** 20 **CHART-Y** 20 ･･･

軸と主な書式のキーワードは、次のとおりです。

キーワード	内容
COLUMN-AXIS	「カラム軸」のフィールド（列の順）
TABLE-HEADER…	「カラムヘッダー」（15～17）
TABLE-VALUE…	「値」（18～22）
TABLE-GRID…	「グリッド」（24～26）

※列の表示形式（6）を選択した場合は、フィールドのあとに「FORMAT」が記述されます。

※「フィルター式」の条件は、コマンドには記録されません。

例

CREATE CHART TYPE "TABLE" TABPAGE 1 TABNAME "Page 1" COLUMN-AXIS TABLE "売上データ" FIELD [地域] AND TABLE "売上データ" FIELD [営業担当者] AND TABLE "売上データ" FIELD [金額] TABLE-HEADER "on" TABLE-VALUE "on" TABLE-GRID "off" ･･･ WIDTH 620 HEIGHT 400 CHART-X 20 CHART-Y 20 PAGE-SIZE 1280 720 ･･･

© 2026 SanKei Biz Consulting, Corp.